

## 野菜の需給・価格動向レポート（平成29年12月18日版）

## 1 主要野菜の生産出荷状況

※レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	11月の価格情報		12月の価格情報		12月上旬の関東・近畿の入荷量 ( ) 内は、本年と過去3カ年平均値との比率	12月の主産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額						
葉茎菜類	キャベツ	72.93 (125%)	91 (145%)	106	72.93 (160%)	117 ・6,172t (81%)	愛知(56), 千葉(25)			
		76.91 (130%)	100 (143%)	110	76.91 (158%)	122 ・2,114t (75%)	愛知(63), 兵庫(10), 大阪(8)			
	たまねぎ	83.77 (87%)	73 (91%)	76	83.77 (96%)	81 ・7,286t (95%)	北海道(97)			
		83.77 (92%)	77 (95%)	80	83.77 (98%)	82 ・3,301t (96%)	北海道(87), 兵庫(12)			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	136.25 (216%)	294 (261%)	355	136.25 (243%)	331 ・2,214t (89%)	千葉(25), 埼玉(19), 群馬(14), 茨城(13)			
		467.01 (151%)	706 (141%)	657	467.01 (139%)	649 ・142t (78%)	徳島(26), 三重(19), 奈良(19), 高知(12)			
	はくさい	40.32 (168%)	68 (223%)	90	40.32 (210%)	85 ・5,755t (95%)	茨城(96)			
		55.95 (163%)	91 (209%)	117	55.95 (218%)	122 ・1,015t (55%)	茨城(33), 愛知(17), 和歌山(10), 兵庫(8)			
	ほうれんそう	385.11 (222%)	855 (235%)	904	385.11 (210%)	811 ・492t (56%)	群馬(44), 茨城(21), 千葉(13)			
		461.74 (184%)	849 (188%)	868	461.74 (190%)	877 ・170t (49%)	徳島(47), 福岡(19), 群馬(11), 岐阜(10)			
果菜類	レタス (結球)	143.63 (207%)	298 (272%)	390	233.85 (153%)	358 ・1,750t (54%)	静岡(30), 香川(15), 茨城(14), 兵庫(12)			
		154.61 (181%)	280 (236%)	365	226.75 (171%)	388 ・523t (49%)	兵庫(46), 徳島(21), 香川(10), 長崎(9)			
	きゅうり	289.03 (126%)	365 (155%)	449	370.98 (123%)	456 ・2,171t (96%)	富崎(37), 千葉(19), 高知(15), 埼玉(13)			
		298.96 (118%)	353 (154%)	461	350.33 (128%)	447 ・674t (84%)	宮崎(51), 高知(22), 徳島(9)			
	トマト (大玉)	347.41 (106%)	369 (123%)	426	349.23 (127%)	444 ・2,376t (83%)	熊本(47), 愛知(16), 柄木(13)			
根菜類		371.67 (101%)	377 (110%)	407	326.61 (129%)	422 ・843t (83%)	熊本(76)			
	なす	301.00 (169%)	508 (158%)	477	389.03 (137%)	532 ・441t (72%)	高知(64), 福岡(17)			
		263.21 (187%)	492 (184%)	485	397.74 (135%)	538 ・159t (63%)	高知(42), 熊本(25), 福岡(19), 岡山(11)			
	ピーマン	378.83 (157%)	593 (136%)	515	378.83 (136%)	516 ・682t (97%)	富崎(36), 茨城(30), 高知(18)			
根菜類		371.29 (156%)	578 (129%)	480	371.29 (135%)	502 ・270t (99%)	宮崎(43), 高知(24), 鹿児島(13)			
	だいこん	67.55 (142%)	96 (164%)	111	67.55 (171%)	116 ・4,215t (68%)	千葉(47), 神奈川(45)			
		76.48 (130%)	100 (150%)	115	76.48 (156%)	119 ・2,191t (72%)	和歌山(30), 長崎(25), 徳島(19), 鹿児島(17)			
	にんじん	105.86 (127%)	134 (117%)	124	105.86 (108%)	114 ・4,493t (85%)	千葉(80)			
		104.49 (130%)	136 (118%)	123	104.49 (134%)	140 ・1,485t (91%)	長崎(50), 鹿児島(14), 鳥取(13), 千葉(9)			

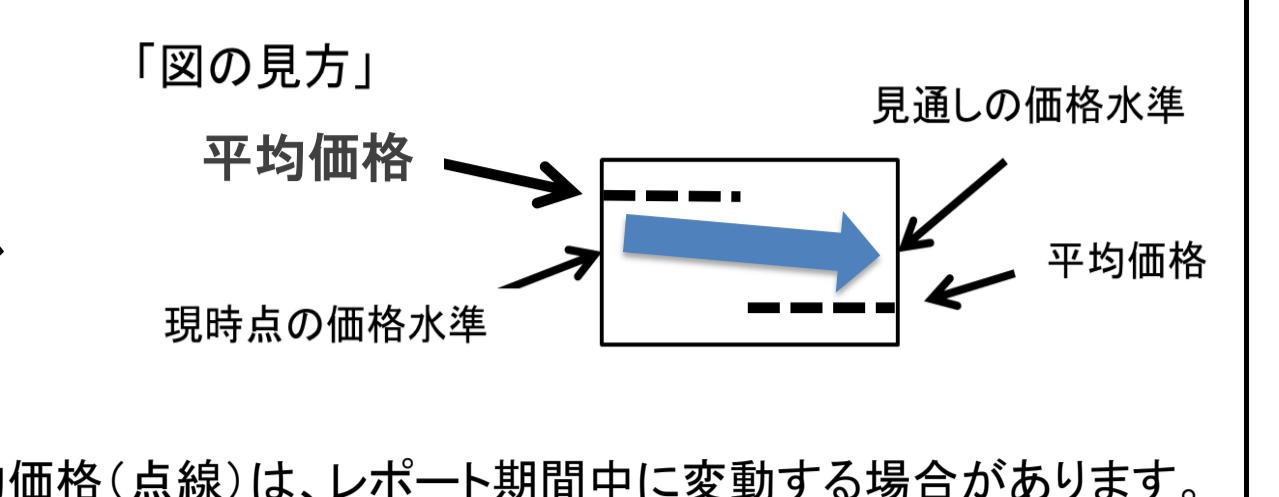
注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。

2 旬別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

3 単位は円/1kg。上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成28年実績である。

5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聽き取りをもとに機構が作成したもの。



平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。

## 1 主要野菜の生産出荷状況

※レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	11月の価格情報			12月の価格情報			12月上旬の関東・近畿 及び近畿ブロックの 入荷量 ( ) 内は、本年と 過去3カ年平均値 との比率	12月の主産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し			
	(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格		指定野菜の 関東・近畿 ブロック 旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格		指定野菜の 関東・近畿 ブロック 旬別平均販売価額						
	中旬	下旬	上旬									
いも類	さといも	220.97	259	255	220.97	275	• 517t (97%)	埼玉(60), 千葉(14)		埼玉産は、10月中旬の日照不足により、小玉傾向となっていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。千葉産は、定植期の干ばつにより肥大が進まず、小玉傾向となっていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。		
		(117%)	(115%)		(124%)							
	ばれいしょ	217.56	275	272	217.56	271	• 210t (97%)	愛媛(36), 福井(26), 静岡(10)		北海道産は、貯蔵ものの計画的な出荷となっており、Lサイズ中心であるものの、作柄は良好なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。		
		(127%)	(125%)		(124%)							

注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。

2 旬別平均販売価額の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

3 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成28年実績である。

5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聽き取りをもとに機構が作成したもの。

## 1 主要野菜の生産出荷状況（特定野菜）

種類	11月の価格情報			12月の価格情報			12月上旬の東京 都・大阪市場の入荷 量 ( ) 内は、本年と過 去3カ年平均値との比 率	12月の主産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し		
	(参考) 過去5カ年 平均価格		東京都・大阪市場の 旬別価格	(参考) 過去5カ年 平均価格		東京都・ 大阪市場の 旬別価格					
	中旬	下旬	上旬								
洋菜類	ブロッコリー	302.07	401	493	321.75	453	• 686t (77%)	愛知(24), 香川(24), 埼玉(18)		香川産は、11月下旬の寒波で2週間ほど生育遅れが発生していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。愛知産は、台風後に病害が発生したことから、11月下旬の低温や干ばつ気味で根張りが弱く生育遅れが発生していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。埼玉産は、10月の台風の影響で正品率が低下していることに加え、端境が発生していることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。	
		(133%)	(163%)		(141%)						
根菜類	ごぼう	369.86	452	534	336.04	549	• 130t (52%)	鳥取(26), 徳島(24), 米国(11), 長崎(9)		香川産、愛知産及び埼玉産が引き続き少なめまたはやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
		(122%)	(144%)		(163%)						
	かぶ	247.06	240	213	295.68	254	• 317t (87%)	青森(63), 茨城(16)		青森産は、10月下旬以降の好天により、作柄良好で太物率も上昇し、全体量は確保されているものの、長いものの収穫作業との競合や11月末の降雪により掘り取りが遅れていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。茨城産は、作付面積の減少に加え、11月中旬以降の低温により促成作の肥大遅れが発生していることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		(97%)	(86%)		(86%)						

注：1 平均価格は、過去5カ年（平成24～28年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。

2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/k gである。

3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成28年実績である。

## 2 トピック - かんしょの需給動向について -

